



鳥取県教育センターだより

Tottori Prefectural Education Center News

〒680-0941 鳥取市湖山町北5丁目201 【TEL】0857-28-2321（代表） 【FAX】0857-28-8513
【URL】<https://www.pref.tottori.lg.jp/kyoikucenter/> 【e-mail】kyoikucenter@pref.tottori.lg.jp

GIGAスクールフェア 2022 in TOTTORI

8月21日（日） 倉吉未来中心
アトリウム・セミナールーム3等で開催

ICT活用をはじめとして学校教育は大きく変化しています。本フェアは本県のGIGAスクール構想について、学校関係者だけでなく、県民の皆様にも広く知っていただく目的で実施しました。GIGAスクールフェアに来て、見て、触れて、教育の今と未来を体感していただくことができました。



キーボードタイピング対決小学4年生以下部門では1分間に200文字もタイピングした児童もいました。すごいですね。



鳥取工業高校、米子南高校の生徒がワークショップ等を開き、フェアを盛り上げました。また、企業ブースでは県内外から19社の出展があり、来場者が最新ICT機器や教育教材に触れることができました。



鳥取東高校、米子高校の司会ボランティアの生徒が企業の方にインタビューをし、メインステージへ中継しました。



ミニワークショップでは、創造性あふれるデザインをしたり、プログラミングでロボットカーやドローンを自由自在に動かしたりと、楽しい体験ができました。

県内外から、教育関係者をはじめ、子どもから大人まで約340名の来場がありました。鳥取湖陵高校の生徒がフェアのポスターを作成してくれたり、県内の高校生や島根大学の学生がボランティアとして参加してくれたり、フェアを大いに盛り上げ、大活躍する姿がたくさん見られました。

フェアを通して、特に印象的だったことは、子どもたちの姿でした。コロナ禍で旅行やイベント等も中止されるなど我慢の日々が続く中、保護者と一緒に子どもたちがいきいきと目を輝かせながら、様々なワークショップに取り組んでいました。今後も、未来を担う子どもたちがICT活用しながら、楽しい中に多くの学びを体験できるような取組やICTを「活かす」情報発信を行っていききたいと思います。

御来場ありがとうございました。

持続可能な校内人材育成システムの構築

ー令和4年度版とっとりメンター方式「メンターチーム研修」訪問からー

本県では大量退職・大量採用による新卒採用等の増加に伴い、今後教職経験10年未満の教員の割合が高まり、世代交代が急速に進行します。このことにより、初任者を含めた若手教員の着実な資質向上が喫緊の課題となっています。校内での急激な世代交代が進む中、先輩教員から若手教員への教育技術等の伝承を強く意識し、意図的に行っていく必要があります。教員の資質向上を図るためには、相互の学び合い・支え合いが大変効果的です。若手教員、ひいては、校内教職員全体の着実な資質向上を効果的に図ることのできる「持続可能な校内人材育成システム」を構築する必要があります。

令和4年度版とっとりメンター方式「メンターチーム研修」訪問

6月から8月にかけて、とっとりメンター方式を実施しているいくつかの小中学校を訪問し、メンターチーム研修に参加しました。各校がそれぞれ自校の実態に合わせ工夫して取り組まれていますので、その一例を紹介します。



【実践例】

初任者はもちろん、若手教員や中堅教員の育成にもつながっています

ー 鳥取市立倉田小学校 ー

研修内容	教材研究と発問づくり～道徳編～ ・中心発問や導入の仕方について意見を出し合い、深める
日時	令和4年6月17日(金) 15:50～16:35
参加者	・初任者1名 ・初任者研修サポート教員 ・メンターチームリーダー(13年目) ・メンバー4名 (34年目、18年目、2年目、講師)

【メンターチーム研修の工夫】

- ・中堅研修対象者をチームリーダーとし、メンターチーム研修を中堅研修の実践の場としている。
- ・チームリーダーを校内分掌に位置付けている。
- ・事前に課題を配付し、各自が考えを持って研修に参加するようにしている。



時間割の中に組み入れることで定期的に研修を実施しています

ー 倉吉市立西中学校 ー

研修内容	授業づくり～ICT活用～ ・メンターによるICT活用の実際 ・初任者の悩みをメンバーがアドバイス
日時	令和4年6月24日(金) 9:40～10:30(2時間目)
参加者	・初任者3名 ・初任者研修サポート教員 ・メンターチームリーダー(6年目) ・メンバー2名(25年目、3年目)

【メンターチーム研修の工夫】

- ・初任者の教科に合わせてメンバーを構成し、時間割に組み入れることで実施しやすくしている。
- ・初任者研修サポート教員とチームリーダーは、C4thを活用して連絡・調整を図っている。
- ・メンバー以外にも情報提供し、希望すれば参加可能としている。



【実施校の声 ～メンターチーム研修について～】

若手教員から中堅教員まで、共に力量をつける場となっている。

初任者が「楽しみで心の支えになっている」と話している。

メンバー同士の人間関係をつくるきっかけとなっている。

若手で構成することにより、初任者が話しやすく感じている。



メンバーが初任者に声をかけ、初任者の困り感に寄り添っている。

メンター方式 関連資料



こちらを
御覧ください。

とっとりメンター方式では、メンターチーム研修をはじめ、初任者研修の組織体制を有効活用して、校内教職員全体、特に若手教員やミドルリーダーの育成を図っています。校内指導教員やメンターチームメンバーは初任者に関わることをとおして、自らを振り返ったり新たな学びを得たりします。初任者は多くの教職員からの積極的な関わりによって成長し、めざす教師像を明確にすることができます。

来年度から、県内の小学校、中学校、義務教育学校において、とっとりメンター方式を全面的に実施します。校内教職員の主体的な学び合いにより、育ち合い、高め合う組織をめざしていただきたいと思います。